平成30年度大阪大学未来基金グローバル化推進事業「研究留学助成金」募集要項

1. 趣旨・目的

大阪大学大学院生（修士課程・博士課程・法科大学院の課程）による海外の大学・研究機関等における短期研究留学等の研究活動を推奨支援し、国際性豊かで創造的な研究開発活動を独力で展開できるグローバル人材を育成するため、「研究留学助成金」の支給を行う。

2. 応募資格・条件

留学開始から終了までの期間、本学大学院に在学する正規生（休学者、国費外国人留学生、日本学術振興会の特別研究員を除く）であり、人物・学業成績、研究意欲及び語学力に優れ、志操堅実かつ健康であり、以下の条件を満たす者

- ① 研究を行うことを目的として、原則3か月以上10か月間程度海外に滞在し、研究活動を継続的に行うこと。
※研究の必要性によっては3か月未満の計画を審査対象とすることもありますが、3か月以上が優先される。2か月未満の計画は受け付けない。
※単なる学会発表、研究視察、研究室訪問滞在等は対象としない。
※交換留学や学位取得を目的とした海外大学の大学院への留学は対象としない。
※留学期間が10か月を超える場合も、助成は10か月までとする。
※未来戦略機構博士課程教育リーディングプログラム奨励金受給者は対象としない。
 - ② 研究留学について、大阪大学の指導教員の下承が得られていること。
 - ③ 研究目的が明確であり、研究留学により学位論文の制作に資する成果が期待できる計画が立てられていること。
 - ④ 第1回募集では平成30年4月1日から平成31年3月31日の間に、第2回募集では平成30年10月1日から平成31年3月31日の間に留学を開始すること。
 - ⑤ 留学開始前に、必ず海外旅行傷害保険（治療・救援費用保険金額が3千万円以上のプラン、賠償責任保険付き）及び派遣留学生危機管理サービス（OSSMA）に加入すること。
 - ⑥ 過去に本助成金を受給していないこと。
- ※外国人留学生の母国への留学について、本制度利用を妨げない。ただし、奨学金等について減額する可能性がある。また、その他、明らかに他の学生と比べて不公平とみなされる場合は、本助成額を減額する可能性がある。
- ※類似の海外渡航援助金・助成金との併給を認める。ただし、その場合は、平均月額が、本助成による奨学金の支給月額を越えないこと。なお、助成機関によっては併給を認めない場合もあるので申請者自身にて各機関に確認すること。
- ※留学期間を通じて本学における在籍状況を「在学」または「留学」とすること。「休学」して本助成を受給することは認められない。
- ※予算の執行状況によっては、第3回の追加募集を行うこともある。

3. 助成の内容

研究留学のための費用に対し助成金を支給する。支援の内容は次のとおりとなる。助成額の支給は5月中頃以降となる。

【往復渡航費】留学先への渡航及び帰国のための往復渡航費の一部

アジア地域：10万円

（アフガニスタン、インド、インドネシア、韓国、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、台湾、中国、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、東ティモール、フィリピン、ブータン、ブルネイ、ベトナム、香港、マカオ、マレーシア、ミャンマー、モルディブ、モンゴル、ラオス）

上記以外の地域：20万円

※他団体等から渡航・帰国にかかる支援を受ける場合は、往復渡航費は支給されない。

※アジア地域と上記以外の地域の両方が留学先に含まれる場合は、上記以外の地域の単価で支給する。

【奨学金】

留学先地域により次の4つに区分 詳細は別紙参照

指定都市： 10万円

甲地区： 8万円（北米、欧州、中近東（一部地域を除く））

乙地区： 7万円（指定都市、甲地方、丙地方以外）

丙地区： 6万円（アジア（一部地域を除く）、中南米、アフリカ）

留学開始月と留学終了月以外の期間は、月額支給とする。

●留学開始月及び留学終了月の支給について

それぞれの月の留学日数の計によって、下記のとおりとする。

留学日数計	開始月	終了月
31日以内	○	×
32日以上	○	○

※留学期間には移動日は含まず、研究留学を行う期間のみとする。但し、移動日に研究を行う場合は留学期間を含める。

※ひと月のうちに留学先地域の地区が複数にまたがる場合は、当該月のうち、留学日数が最も多い地区の月額を支給する。なお、複数の地区の留学日数が同じであるときは、奨学金月額が最も高い地区の月額を支給する。

4. 助成予定者数

第1回 16名程度、第2回 4名程度（予算状況による）

5. 応募期間

第1回：平成30年2月1日から平成30年2月28日【期日厳守】

第2回：平成30年6月1日から平成30年7月10日【期日厳守】

※所属研究科における応募期間を各自確認すること。

6. 応募方法

応募期限までに下記①～⑤の書類（各1部・A4サイズ）を所属研究科の留学担当係に提出すること。

なお、①と⑥についてはエクセルデータを下記のメールアドレス宛に提出すること。

- ① 「研究留学助成金」申請書
- ② 留学先大学等の受入れ（見込み）が証明できるもの（受入許可書の写し、留学先指導教員との往復書簡（メール）の写し等）
※但し、使用言語が日本語又は英語以外による場合は和訳文を添付すること。
- ③ 語学能力を証明する書類（留学先で主に使用する言語の語学能力検定試験スコアシートの写し等）
- ④ パスポートの写し（カラーコピー）：氏名・顔写真の頁
- ⑤ 在留カードの表裏の写し（外国籍保有者のみ）
- ⑥ 面接日程回答票（データのみ提出すること。紙媒体での提出不要）

【①、⑥エクセルデータ提出先】

メールアドレス： outbound@ciee.osaka-u.ac.jp

メールタイトル： 「研究留学助成金申請（学籍番号・氏名）」

【募集要項・申請書等様式掲載 URL】

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/international/outbound/scholarship>

7. 選考方法

書類審査及び面接により選考を行う。

※第1回は3月中旬に、第2回は7月下旬～8月中旬に15分程度の面接を実施予定。うち2分間程度、研究留学の目的・計画等について、留学先での研究活動において主に使用する言語での簡単な説明が求められる。

8. 選考結果の通知

所属研究科を通じて応募者本人に採否及び支給額の通知を行う。第1回は4月上旬、第2回は10月上旬に通知予定。

なお、助成決定後、留学期間・研究計画の変更や他の奨学金への採用等がある場合は、速やかに国際学生交流課にその旨を連絡すること。内容によっては再審査及び助成額の変更対象となる。

9. 助成金の振込

指定された本人名義の国内銀行口座へ一括して助成金を振込む。助成金受給に係る手続き方法及び提出書類については採択者に別途通知する。

10. 帰国後の報告義務

帰国後1か月以内に所属研究科の留学担当係を通じて研究留学成果報告書(所定様式)及びパスポート(出入国記録のページ)の写し、留学中の研究活動の様子がわかる写真を国際学生交流課に提出すること。報告された研究成果は、実名と共に本学ホームページ等において公開される場合がある(公開する内容・時期について要望がある場合は、報告書類提出の際に申し出ること)とともに、ポスター発表を依頼する場合がある。

※期日を過ぎて報告書類の提出が無いときは、助成金の返金を請求する場合がありますので、留意すること。

11. 研究成果の発表

本助成を受給して留学し、その成果を論文や学会等で発表する場合は、当該論文もしくは学会要旨等に本助成による支援を受けた旨明記し、その写しを国際学生交流課に提出すること。

【記載例】

日本語：本研究は、2018年度大阪大学「研究留学助成金」制度による助成を受けたものである。

英語：This work was supported by the Osaka University Scholarship for Overseas Research Activities 2018.

【本件問い合わせ先】国際部国際学生交流課

Tel: 06-6879-7102

Email : outbound@ciee.osaka-u.ac.jp

留学先地域による奨学金月額

地 区	地域名・都市名	地 区	地域名・都市名
指定都市	アビジヤン アブダビ クウェート サンフランシスコ シンガポール ジッダ ジュネーブ ニューヨーク パリ モスクワ リヤド ロサンゼルス ロンドン ワシントン D.C.	乙地方	<u>指定都市、甲地方、丙地方以外の地域</u> 【主な都市】 ウェリントン クアラルンプール サンクトペテルブルク シドニー ジャカルタ ソウル ソフィア タシケント バンコク プラハ ブダペスト マニラ メルボルン ヤンゴン
甲地方	・北米 ・欧州 ・中近東 (アゼルバイジャン、アルバニア、アルメニア、ウクライナ、ウズベキスタン、エストニア、カザフスタン、キルギス、ジョージア、クロアチア、コソボ、スロバキア、スロベニア、セルビア、タジキスタン、チェコ、トルクメニスタン、ハンガリー、ブルガリア、ベラルーシ、ポーランド、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、モルドバ、モンテネグロ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ロシアを除く) 【主な都市】 アムステルダム アンカレッジ ウィーン ヴァンクーバー エルサレム コペンハーゲン シアトル シカゴ チューリッヒ トロント ニューオリンズ ハンブルグ フランクフルト ブラッセル ホノルル ボストン マドリッド モントリオール ローマ	丙地方	・アジア (インドシナ半島*、インドネシア、大韓民国、東ティモール、フィリピン、ボルネオ、香港を除く) ・中南米 ・アフリカ *インドシナ半島:シンガポール、タイ、ミャンマー、マレーシアを含む 【主な都市】 カイロ ケープタウン サンパウロ 上海 台北 ナイロビ ブエノスアイレス 北京 メキシコシティ リオデジャネイロ リマ

※地区の区分は「国家公務員等の旅費に関する法律」(昭和25年法律第114号)及び「国家公務員等の旅費支給規程」(昭和25年大蔵省令第45号)による。